

# 蚊の媒介する危険な病気



蚊は吸血するとき、唾液を注入します。この唾液がアレルギー反応を引き起こし痒みとなります。蚊のアレルギーの場合、最悪死に至ることもあります。

また、蚊による害の中でも注目すべきは感染症です。対象疾患は、ウエストナイル熱・チクングニア熱・デング熱・日本脳炎・マラリアがあげられます。

## ★蚊に刺されやすい人★

・体温が高いほうが刺されやすい

どの体から血液を摂取しようとするかは体温を見て決めています。



・蚊は人間の吐く二酸化炭素を見つけている

子供が蚊に刺されにくいのは、体が大きくなればなるほどCO2の排気量は増えるからなのです。

・ビールを飲むと蚊が寄ってくる

ビールをたった350ml摂取しただけでも蚊を寄せ付ける割合は増加します。

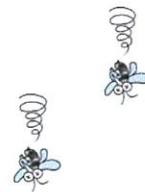
・「O型」が最も刺されやすい

① O型 性年代別では20代女性が一番多い

② B型 男性より女性の方が刺されやすい

③ AB型 人間でもほとんどの血液型の方にも

④ A型 輸血できるように、蚊にも優しいということなので  
しょうか。



令和2年  
31号



## 「土用の丑の日」 7/21・8/2

今年は  
2回あるよ



土用とは立春・立夏・立秋・立冬の前の18日間をさしますが、立秋前の最も暑い夏の土用が有名です。

その期間中の丑の日に夏ばて防止にウナギを食べる習慣は、江戸時代から続いているといえます。土用の丑にウナギを食べるようになった理由は、次のようにいわれています。



江戸時代、商売がうまく行かないウナギ屋が、物知りな発明家として有名な平賀源内の所へ相談に行きました。すると源内は、「丑の日に『う』の字がつく物を食べると夏負けしない」という民間伝承があるから、店先に『本日丑の日』と書いて店先にはるといいだろうと、勧めました。

すると、有名な源内の言うことならと、町の人たちが集まり、そのウナギ屋は大変繁盛したということです。その後、他のウナギ屋もそれを真似するようになり、土用の丑の日にウナギを食べる風習が定着したのです。

屋上清掃・庭木害虫駆除・貯水槽清掃・グリストラップ清掃なども対応しております。

美作防疫コンサルタント有限公司  
本社 / 岡山県津山市河面1168

TEL 0868-26-0975 FAX 0868-26-7511 MAIL mibo@go3.enjoy.ne.jp

